

途上人 KITANO 金剛山で樹氷を楽しむ

26期 梅谷 武

2015年2月4日(水) 天候;晴れ後曇り 気温9℃(山頂気温1℃)

今回の参加者は、CL 桑名、SL 兼田、山田先生、小池、仁張、高橋(仁張友人)、中西、猪之良、渡部、藤本、丸野(桑名友人)、梅谷の12名。平日にもかかわらず河内長野のバス停は長蛇の金剛登山客であふれ、臨時バスも準備される中、我々を乗せたバスは8時57分に出発。ロープウェイ前のバス停には9時35分に着き、安全の為にストレッチ体操をして9時50分に登山開始。膝に少し不安があるためロープウェイを使って登る仁張さんと別れて百ガ辻を目指す。

今回のコースは、百ガ辻から伏見林道を通って念仏坂を登り、伏見峠を経由して府民の森ちはや園地を目指す。15分歩いて3分休憩のピッチで念仏坂のなだらかな長坂をゆっくり登る。高度が増すにつれて路面がアイスバーンになって来たので、初谷付近で全員がアイゼンを装着。久しぶりのアイゼン装着に何人かは手助けが必要であったが、和気あいあいと楽しみながら装着した。私は時折法螺貝を吹き、皆を励まし、久しぶりの山行を楽しむ。

全員が67歳以上であることを考慮して、ゆっくり、ゆっくりと、先頭と最後尾が離れないようにひと固まりになりながら念仏坂を登る。ザックザックとアイゼンの音、そして樹氷を楽しみながら、11時10分に伏見峠に着く。念仏坂の中程から上は銀世界。樹氷と霧氷が風上に向かって伸びた景色が美しい。

今日の昼食場所である金剛山キャンプ場には11時20分に着く。そこには一足先に着いた仁張さんが待っていた。時間的には少し早いけど昼食にする。早速、登山用コンロでお酒を温め、ラーメン用の湯を沸かし、熱燗で乾杯。また、渡部さんの差し入れの鹿肉、猪肉の揚げ物、それぞれの持ち寄りの料理を頂きながら歓談し、楽しい昼食となる。

食事後、ちはや園地や山上の雪中を散策した。ピーカンで寒くもなく、青空に白銀の樹氷が映えて美しい。目前のいたるところ最高の樹氷と霧氷。遠望では大峰山系、高見山を見る事が出来た。その後、健脚の桑名、丸野、渡部の3名は葛城神社、転法輪寺を巡り尾根コースを下山するために別れる。残り9名は展望台で360度の白銀の世界を楽しみ、シャクナゲの道を通ってロープウェイ金剛山駅に向かう。2時30分発のロープウェイに乗り、我々がバス停に着いた時には、尾根コースを下山した3名は既に着いていた。帰路は3時44分発のバスに乗り、河内長野到着後は王将での恒例の反省会となった。キンキンに冷えた大ジョッキで乾杯し、餃子を始めとする中華料理を頂きながら、春の花見の計画を練り、散会した。

